

—パッシブシステム研究会が目指すパッシブデザインとは—

# 気候変動下、 突然の災害への備えと、 パッシブ技術

平成最後の三十年九月六日、日本を縦断した台風二十一号の影響が終わる間も無く、北海道全域を襲った「胆振東部地震」による災害。全道が真っ暗になった「ブラックアウト」の怖さを経験しました。電気が止まると何もできないことの無力さを感じました。暖房、給水、給湯の動力もそのほとんどが電気。信号の停止による交通の恐怖など多くのことを経験しました。

パッシブシステム研究会は「夏の涼しさや冬の暖かさを機械に頼らない形でどのように住まいに取り込むか」などを研究、実践してきました。会員は長年にわたる努力の結果、高性能・高断熱・高気密な住宅を提供することができました。高性能な住宅だからこそ可能な自然の力が利用が注目されています。基礎断熱した床下を利用する自然給気と排気筒からの排気、床下暖房を組み合わせて極力動力を少なくする換気・暖房システムのパッシブ換気、夏の緑のカーテン、冬は窓から積極的に太陽光を取り入れ暖房負荷を下げるなどテーマは数えきれません。突如襲われる災害への防災技術の一つに高性能な家づくりが上げられます。「防災」「健康」「安全」「パッシブ技術」を軸にその考え方を多くの市民の方にご紹介します。



パネラー  
菅井 貴子さん

北海道文化放送 (UHB)「みんなのテレビ」ご出演中  
気象予報士のほか、防災士・  
地球温暖化防止コミュニケーター・  
健康気象アドバイザー・  
科学技術エコーダーとしても執筆、  
講演活動を行っている。



パネラー  
奈良 顕子さん

南奈良建築環境設計室 室長  
一級建築士、北海道建築指導センター相談員、  
北海道マイホームセンター相談員、  
北海道環境影響評価審議会 委員など  
多くの公的活動で活躍。



コーディネーター  
羽山 広文さん

北海道大学大学院工学研究院  
空間性能システム部門 建築環境学研究室  
教授・博士 (工学)  
著書に「健康に暮らすための住まいと  
住まい方 エビデンス集」  
「見る・使う・学ぶ 環境建築」など

## 「パッシブ 市民セミナー」開催

参加無料

定員90名迄  
FAX申し込み先着順

日時:平成30年11月17日(土) 時間:13:00~16:30(12:30受付)

会場:リンナイ(株)北海道支店2階会議室 札幌市中央区南7条東1丁目1番1 札幌地下鉄東豊線 豊水すすきの駅下車6番出口から徒歩5分以内

### ◎コーディネーター、パネラーからの話題提供

1

「変動する地球環境・異常気象や震災の中での防災について考える」

パネラー 菅井 貴子さん

2

「健康と安全を支える住まいの環境。初山雅子氏の言葉から」

コーディネーター 羽山 広文さん

3

「パッシブ換気をはじめとしたパッシブデザインの魅力とは」(設計者からのお話し)

パネラー 奈良 顕子さん

### ◎コーディネーター、パネラーによる討論。その後、皆様との質疑応答:50分

●お問い合わせ:NPO法人パッシブシステム研究会事務局(☎090-7645-7873 担当:三浦)へ。<http://www.pv-system.jp> E-mail [info@pv-system.jp](mailto:info@pv-system.jp)

●お申し込み: FAX送信にて申し込みを受付いたします FAX011-213-7548 受付〆切り:11月15日(木) ※定員になり次第締切らせていただきます

主 催:NPO法人パッシブシステム研究会(理事長 繪内 正道)

後 援:札幌市、札幌商工会議所、北海道、(一財)北海道建築指導センター、(一社)北海道建築技術協会、(一社)北海道建築士事務所協会札幌支部

協 賛:北海道ガス(株)、NPO法人パッシブシステム研究会会員、賛助会員

VENTILATION SYSTEM